診療情報を利用した臨床研究について

野村病院　リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去に回復期病棟を退院された方の心身機能と退院先の関係性をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までに当院回復期病棟を退院した患者 192 名

【研究課題名】
当院回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰の要因

【単独・多施設】
野村病院リハビリテーション病棟　単施設研究

【主任研究者、研究代表者（研究統括責任者】
医療法人財団慈生会 野村病院 リハビリテーション科　吉森一樹

【研究の目的】
退院時の心身機能と退院先の関係性を調査し、自宅退院に必要な能力を把握すること。
その結果に基づいて、今後のリハビリテーションに活用すること。

【研究の背景】
回復期リハビリテーション病棟（以下、回リハ）に入院している患者さんの多くは自宅退院を望まれていますが、十分に日常生活動作（以下、ADL）が向上せず施設に退院される方も一定数います。先行研究では自宅に帰ることが出来る要因について、様々な項目で検討されており、中でも退院時の機能的自立度評価法（以下、FIM）の点数（高得点であるほど自立度が高い）が多くの論文で挙げられています。しかし、詳細な FIM 項目と退院先を検討したものはありません。そこで今回、在宅復帰に繋げやすい項目・優先して獲得すべき ADL を明確にします。その結果に基づいて、今後のリハビリテーションに活用していきます。

【利用する情報】
2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までに当院回復期病棟を退院した患者さんの性別、年齢、在院日数、発症から回リハ転院までの日数、入院時・退院時の FIM の点数などをカルテ情報から参照します。すでに退院された方の情報を用いますので、これから新たに入院される患者さんに負担がかかることはありません。もしこのご案内をお読みになり、詳細な説明を希望される場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【研究実施期間】
病院長承認日～2024 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】
お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別することができるような情報は削除してデータの処理を行います。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は 2029 年 3 月 31 日まで保存いたします。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は野村病院リハビリテーション科　吉森一樹となります。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究対象者の方とそのご家族の方で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限り研究に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までお問い合わせください。ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022 年 9 月 15 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて受診者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
医療法人財団慈生会 野村病院　リハビリテーション科　吉森一樹
電話　0422-47-4848 (代表)

倫理委員会 申請承認番号 J2022-003 （承認日 2022 年 9 月 5 日） 公開期日 2024 年 3 月 31 日